



学習成果を発表しました！ 今後の課題を発見しました！

六月八日意見発表校内大会、十五日校内プロジェクト発表会、二十三日農業鑑定競技校内大会が開催されました。生徒の皆さんは日頃の学習成果を発揮するため、また、今後の学習課題を発見するために真剣に取り組んでいました。最優秀賞受賞者は次のとおりです。

意見発表校内大会

・食料・生産区分

『畜産から学ぶ』

動物科学科二年 加藤里佳

生徒が選ぶ最も良かった発表

『ゴールデンズピーチ賞も受賞』

・環境区分

『むし』

環境科学科二年 古川 一輝

文化・生活区分

『伝統のすばらしさ』

植物科学科三年 川上成美

審査員特別賞

『食の大切さを考えて』

食品科学科三年 長島由依

校内プロジェクト発表会

・食料区分

『地域の特産品を活かしたアイスクリーム開発』

動物科学科三年

浅津遼、熱田翔



上(プロジェクト発表会の様子)
下(鑑定競技校内大会の様子)
写真部:加藤里佳さん撮影



・環境区分

『希少植物の保護〜二つの浜でハマボウフウの増殖と特産品化計画〜』

植物科学科三年

梶谷伊代、井上祐輔、大國美香、藤江みづき

文化・生活区分

『野菜大好き！作って食べよう！わくわく食育体験事業の取り組み』

植物科学科三年

波多野緋奈、原田悠里、木村沙耶

☆審査員特別賞

『〜かぐや大作戦 竹チンプ変身計画 Vol.2〜』

動物科学科三年

原ひかり、田平あすか

・農業鑑定競技校内大会

農業・園芸・畜産・食品科学・農業土木・造園の6部門で審査眼を競いました。校内代表者はまだ決定していません。

(生徒が選ぶ最も良かった発表にも輝く)

鳥根県高校総体と振り返って

五月二十八日〜三十日、六月三日〜五日に県内各所で高校総体が行われました。本校からも沢山の生徒が大会に出場し、持てる力を十分に発揮し、好成績を収めました。大畑先生(保健体育科)に高校総体を総括していただきました。

本年度の県総体に向けて五月十九日から始まった強化週間中には、校内のいたるところで各部活動の活気溢れる姿を見ることができました。三年生は例年以上に最後の県総体に向けて熱の入った練習をし、一、二年生はその三年生に引つ張られて、放課後は学校全体が元氣な掛け声に満ちていました。

競技の結果、ウエイトリフライング部十名、カヌー部十一名の計二十一名の計二十一名の選手が「美ら島沖縄総体2010」に参加することとなりました。これは昨年の二倍の参加人数であり、生徒・保護者・教員が県総体に向けて一致団結して取り組んだ成果です。



上海留学生、本校を見学

六月十一日、上海から県内の高校に留学している高校生十二名が本校の見学をしました。

出農太鼓部の演奏のあと、部員の指導のもと、太鼓を打ち鳴らす体験をしました。また、ふれあい動物園の見学も行い、充実した時間を過ごしてもらいました。

出農太鼓部 川上直人

留学生には、日頃部活動の最初に行っている「基本打ち」を指導しました。言葉が伝わらなかつたので、「メントン・・・」と言いながら実際に叩いて指導しました。少しづつできるようになって喜んでる留学生を見てると、気持ち伝わったことが実感でき嬉しくなりました。



(太鼓の指導を受ける留学生)

「口蹄疫」と「遅刻ゼロ」で思うこと

学校長 桑原 克夫

六月も半ばを過ぎ、やっと雨がみられるようになりました。私にとって二つの理由で雨を待っていました。そのひとつは、宮崎県で猛威をふるっている「口蹄疫」のことです。私の想像も入るのですが、多分梅雨となり湿度も上がり雨によって「口蹄疫」の原因となっているウイルスも流れ去ってしまうように思っています。もうひとつが今年の春、県教育委員会の好意で「ふれあい動物園」に芝生を植え付けていただいたわけですが、晴天続きで動物科学科の先生をはじめ灌水など手をわずらわせていたのです。後の理由はともかくとして、宮崎県で多くの牛や豚が犠牲となり、毎日屠殺され、埋められていくのをテレビ等の報道で見、特に畜産農家の方々のあきらめ顔を見る度に胸が痛くなるのは私だけでしょうか。

また、周藤農場長から宮崎県と同じ農業高校である高鍋農業高校でも、多くの牛や豚もその犠牲となったと伺いました。同じ農業教員の一人として、これまで毎日、家畜の世話をしていた高鍋農業高校の生徒の気持ちを考えるとなおさら辛くなりました。本校でも直接、接している動物科学科の生徒たちも同じ気持ちだろうと思つています。一日も早く終息することを願うしがあります。周藤先生も校内プロジェクト発表会で話されたように、できれば高鍋農業高校への励ましの手紙を生徒の皆さんも出してくれればと思つています。

さて、先日あったPTA総会で、私が保護者の皆様にお話したことのひとつに「遅刻」のことがあります。二学期始業式で「遅刻ゼロを目指してほしい」と話しましたが、その後、三年生のある男子生徒が、「遅刻しないよう頑張ります」と言ってくれ、四月、五月と集計したところ、四月は動物二年、植物一年、食品一年、五月は、食品二年と一年がそれぞれ「ゼロ」という状況でした。他のクラスについても大幅に少なくなつていました。

PTAの席でもこのことはお話しましたが、あわせて、遅刻がなく全員そろって授業が始められることが、充実した学校生活の第一歩だと思つています。一年間はまだまだ長いわけですが、是非、最後までこの状態が続くことを願つています。



身土不二

PTA副会長 福田美佐

「身土不二。身体と環境(土)とは切り離せないもの(不二)だ」という意味です。
 身土不二とはマクロビオティック食事法の第一原則なのですが、出雲農林高校での学びに欠かせないものではないかと感じました。
 私たちの身体は環境から様々なものを取り入れて生命を保っています。空気、水、光、熱、風、湿度などなど、食べ物としていただく植物や動物もその一つであり、それら動物植物もまた私たちと同じものを環境から受け取って生きています。
 生徒たちは、学びの中でこれらのことを身を持って感じ取ることができて、親としてうれしく思います。

PTA総会報告

教頭 三浦一弘

六月十三日(日)に本校体育館でPTA総会が行われました。今年度は総会終了後の落ち着いた時期に計画し、百十四名の保護者の出席をいただきました。総会では、新会長、新副会長、新監事を始め、新規の四名を

含む十六名の役員が承認されました。また各クラスより一名の学級評議員もあわせて選出されました。総会では、懸案となっておりました学校からの緊急連絡や学校からのお知らせなど、スムーズに行うための電子通信を導入することが承認されました。夏休みが終わるまでには整備ができればと考えております。

PTA役員の自己紹介の模様



ります。また、当日は授業参観、学校見学、総会後の三年進路集会、一、二年生の懇談、農産物販売等が実施されました。
 今後とも会員の皆様の方で出雲農林高校教育活動を盛り上げていただきますようお願い致します。

授業(実習)内容

○植物科学科

- ・果菜類の収穫
- ・シクラメンの植えかえ
- ・田植え、水田の管理
- ・ハマボウフウの定植

(長浜小学校の5年生といっしょにハマボウフウの定植をする生徒)



○動物科学科

- ・移動動物園
- ・ヨーグルトの製造実習
- ・羊毛刈り実習

(羊毛刈りをする生徒)



☆トウモロコシの栽培

一年生は各科とも授業でトウモロコシを栽培しています。その作業を通して、
 「播種した種から芽が出たときはとても嬉しかった。」
 「育てることの楽しさと大きく育ってくれることに対する感動を覚えています。」
 「一つ一つの作業に必ず意味があるということが分かった。」
 など、たくさん感じたようです。



トウモロコシの手入れの様子

◎中高連絡会

六月十六日に開催され、授業参観・農場見学のあと、入学以来の一年生の様子を中学校の先生方に説明し、その後、中学校の先生と担任の先生との懇談で、情報交換を行いました。また、本校製造のアイスクリームも試食していただきました。



中学校の先生との懇談風景

チヨコパイで1年生を歓迎

家庭クラブの活動の一つとして、一年生と二、三年生の家役員でチヨコパイを作り、交流を深めました。



(調理室でチヨコパイ作り)

編集後記

環境科学科の皆さんが手入れてくれた校庭周辺のアジサイが、きれいに咲きました。雨上がりにはその青が気持ちを落ち着かせてくれます。(小)



7月の行事予定

日	曜	項	目
1	木	7/3の代休、求人受付開始	
2	金	1学期期末考査(～7/3)	
3	土	避難訓練	
4	日		
5	月	SC来校、健康教育(1年)	
6	火	農ク意見発表県大会(矢上)	
7	水	一般常識テスト(3年)、CS	
8	木		
9	金		
10	土	CS	
11	日		
12	月		
13	火	面談週間(～7/16) プロジェクト発表県大会(松江農林)	
14	水	CS	
15	木		
16	金	就職・進学ガイダンス(3年)	
17	土	CS	
18	日		
19	月		
20	火	終業式	
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水	鑑定競技県大会(益田翔陽)	
29	木		
30	金	情報処理競技県大会(出雲農林)	
31	土		

※CS・・・チャレンジショップ開店日